

事業所における自己評価結果 (公表)

公表: 令和7年3月1日

事業所名 放課後デイサービスpeu à peu

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	0		・部屋を分けて環境を整えている。
	②	職員の配置数は適切である	10	0	0		・個別対応等、利用者のニーズに合わせた人員配置をしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	2	2		・2Fに訓練室等のスペースがあり階段を使用。手すりはあるが適切ではない。安全には十分配慮して
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2	0		・多くの会議を設定して職員に周知してもらう。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	0		・保護者の意向、考え等に向き合い改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	2	0		・ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2	1		・今は評価は行っていないが、連携はとれている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2	1		・毎月1回は研修、会議等行っている。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	1	0		・保護者の要望を聞き、また子どもたちの気持ちを考えながら作成する。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	3	0		・アセスメントツールを使用し、現状を把握できるよう努めている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	2	0		・日々職員の意見を聞き、利用者様が過ごしやすいような活動を考えている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	1	0		・季節のイベントを取り入れ、利用者様の要望を聞きながら進めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	1	0		・長期休みについては、外出や季節に合った活動を取り入れている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	0		・一人ひとりに合った活動を考えて計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	10	0	0		・常に行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	3	0		・気になることがあればミーティングをする。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	0		・その日の活動内容、流れを記録し、全職員が確認できるようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	1	0		・見直し時には、モニタリングを行う。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	10	0	0		・今後もガイドラインに沿った支援を行っていく。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	1	0		・管理者兼児発管が参加する。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	10	0	0		・その日の様子は常に共有している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	2	3		・今は医療ケアが必要なお子様はいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	1	2		・利用する前や利用して1年くらいは、共有することもある。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	3	1		・必要に応じて情報共有はしている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4	2		・担当者会議等で専門機関が集まる時に、助言を受けることがある。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3	6		
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	4	4		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	0		・送迎時や連絡帳で当日の様子を報告し、現状や課題の共通理解を持てるように努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3	2		・面談等でアドバイス等を行っている。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	0		・契約時に丁寧な説明を心掛けている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	0		・電話やメール、面談等を行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	4	0		・時々、食事会を開催している。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	0		・苦情があった場合は、迅速に対応している。また、職員とも共有して周知してもらう。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	0		・毎月お便りを出している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑳	個人情報に十分注意している	10	0	0		・十分に配慮している。
	㉑	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	10	0	0		・連絡帳や送迎時に保護者に伝えている。
	㉒	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っている	1	5	3		・課題が多すぎて、今は特に行っていない。
非常時 等の 対応	㉓	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知している	8	1	0		・職員間で定期的を確認し、保護者への周知をしっかりと行って いきたい。
	㉔	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	9	1	0		・定期的に行っている。
	㉕	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	8	1	0		・定期的に行い、職員間で話し 合っている。
	㉖	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し理解を得た上で、放課 後等デイサービス計画に記載している	7	2	0		・現在は身体拘束の場面は発 生していない。必要時は職員間 で話し合い、保護者への十分な 説明を行い、同意を求めていけ るよう努める。
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	4	4	1		・契約時にアセスメントして確認 している。
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	9	0	0		・掲示して共通意識を持ち、再 発防止に努めている。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。